

TOWISE Ver.6.0.2.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
		(以下 平成29年4月27日刊行の『-公共測量-作業規程の準則 基準点測量記載要領 改訂第2版』を『新記載要領』と記載します)
TOWISE CAD	地理院地図	地理院地図の cyberjapan.jpドメインが maps.gsi.go.jp へ切り替えになる予定のため、TOWISEからの参照先を maps.gsi.go.jpドメインへ変更しました。
TOWISE CAD	印刷	補助図形でペイント図形を登録している場合に、ペイントと重なる他の図形の色が薄く印刷される場合があった件を改善しました。
TOWISE CAD	選択候補	図形選択にて選択候補ウィンドウが表示されたときに図形が選択色に切り替わらない場合があった件を改善しました。
TOWISE BASIC GATE	座標DBシート	SIMA出力されたファイルのテキスト行末尾にある改行コードをCR形式からCRLF形式に調整しました。
TOWISE BASIC GATE	GNSS計画図 GNSS成果図	GNSS計画図・GNSS成果図で使用する図枠[GPS図]に「等級」を配置できるようにしました。「作業管理」コマンドの「作業区分」の内容を出力します。「等級」を配置した図枠フォーマットは用意しておりませんので、必要に応じて適宜カスタマイズしてご利用ください。
TOWISE BASIC GATE	記載要領設定	『基準点測量記載要領』に『平成29年度改訂版』を追加しました。
測量CAD	GNSS点検計算表作図	新記載要領の成果に対応しました。 『電子基準点間閉合(H29)』 『重複基線点検(H29)』
測量CAD	求積表作図コマンド	合計欄／公式を作図した場合に絵柄の一部が2重書きまで作図される場合があった件を改善しました。
測量CAD	設置手簿	新記載要領の成果に対応しました。 『設置手簿』 『測量標の設置写真』 柱石長0cm用に「測定値」の入力を追加しました。
測量CAD	標高文字⇒高さ登録	Ver6.0以降コマンドが利用できなくなっていた件を改善しました。
測量計算	中略記号作図	作図距離文字は中略線方向で常に傾いていましたが、用紙水平の配置行えるようにしました。「中略線に傾ける」ボタンを追加しています。(オンが従来の動作です)
基準点測量共通計算	簡易単路線平均計算	新記載要領の成果に対応しました。 『単路線水平網平均計算書』 『単路線高低網平均計算書』 『基準点成果表』 また、『基準点成果表』に出力する「調製年月日」「助言番号」「コメント」の入力を追加しました。 『単路線水平網平均計算書』では、方向角の残差の観測値が「0」の場合に空欄で出力される件を改善しました。
基準点測量共通計算	基準点観測手簿	新記載要領の成果に対応しました。 『観測手簿(記載要領)』 「埋石の種類」の入力を追加しました。
基準点測量共通計算	基準点成果作成	新記載要領の成果に対応しました。 『基準点成果表(厳密網)』 『基準点成果表(簡易網)』 「標高改定対応」の文言出力用に点情報登録画面にコメント入力を追加しました。 新点の名称に等級記号を付加して出力するよう改善しました。 「一等三角点」～「四等三角点」: I～IVを付加 「1級基準点」～「4級基準点」: ①～④を付加

TOWISE Ver.6.0.2.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
基準点測量共通計算	基準点精度管理表	新記載要領の成果に対応しました。 『基準点精度管理表(厳密網)』 『基準点精度管理表(簡易網)』
基準点測量共通計算	基準点点検手簿	新記載要領の成果に対応しました。 『点検手簿(記載要領)』 「埋石の種類」の入力を追加しました。
基準点測量共通計算	距離計算簿	新記載要領の成果に対応しました。 『距離補正計算書』
基準点測量共通計算	点検計算(高低)	新記載要領の成果に対応しました。 『標高計算(点検計算)』
基準点測量共通計算	点検計算(水平)	新記載要領の成果に対応しました。 『座標計算(点検計算)』 また、『座標計算』『座標の計算(点検)』のX Y座標値が四捨五入固定で出力されていましたが、条件に従って丸め処理を行った結果を出力するよう改善しました。入力画面の後視方向角・取付方向角について、浮動考慮で丸めた座標値を使って計算した値を表示していましたが、常に丸めない座標値から計算するようにしました。
基準点測量共通計算	点検路線作成	作成された点検計算(水平)パートの入力画面の後視方向角・取付方向角について、浮動考慮で丸めた座標値を使って計算した値を表示していましたが、常に丸めない座標値から計算するようにしました。
基準点測量共通計算	偏心高低計算	新記載要領の成果に対応しました。 『偏心観測における高低差の正反較差』
基準点測量厳密網平均計算	厳密水平網自動作成	「調整年月日」の入力を追加しました。作成される厳密水平網平均計算パートに登録されます。
基準点測量厳密網平均計算	厳密水平網平均計算	新記載要領の成果に対応しました。 『厳密水平網平均計算書』 また、『厳密水平網平均計算書』に出力する「調整年月日」の入力を追加しました。
基準点測量任意網平均計算	簡易任意網平均計算	新記載要領の成果に対応しました。 『簡易水平網平均計算書』 『簡易高低網平均計算書』 『基準点成果表』 また、『基準点成果表』に出力する「調製年月日」「助言番号」「コメント」の入力を追加しました。 『簡易水平網平均計算書』では、方向角の残差の観測値が「0」の場合に空欄で出力される件を改善しました。
街区点・復元測量	街区点測量精度管理表	座標展開の距離計算値が手簿条件の計測距離丸めを参照していた件を改善し、座標・距離共通条件の距離丸めを参照するようにしました。
水準共通計算	水準条件設定	水準野帳の条件として、「既存水準野帳と逆方向データの登録」を追加しました。「別データとして登録」に設定することで、例えば、与点と新点それぞれ1点という計算を行う際に必要な、「与点→新点」「新点→与点」の水準野帳が登録できるようになります。
水準共通計算	水準点検調整手簿	新記載要領の成果に対応しました。 『水準点検調整手簿』 風向の選択にN,E,S,W,NE,SE,SW,NWを追加しました。
水準網平均計算	水準観測データ入力	復路・復路再測の自・至は、往路の自・至と逆方向で入力するというルールに変更しました。既存の復路・復路再測パートも逆方向に変換します。風向の選択にN,E,S,W,NE,SE,SW,NWを追加しました。
水準網平均計算	水準測量観測手簿	新記載要領の成果に対応しました。 『水準測量観測手簿』 また、往路・復路それぞれの日付の平均を計算する際に、四捨五入されていなかった件を改善しました。開始日又は終了日が閏年の場合、経過日の計算に誤りがあった件を改善しました。再測・中断再開時の気温・日付の集計方法改善しました。集計方法の改善にともない再測・中断再開が行われた時、『各固定点間の高低差』で1点に対して2件の気温を出力するよう改善しました。

TOWISE Ver.6.0.2.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
水準網平均計算	水準測量観測成果表	標尺補正数の欄に出力される気温を四捨五入するよう改善しました。 標尺補正数をmm単位固定ではなく、標高の丸め桁に従って整数表現するよう改善しました。 例)標高条件が小数4桁の場合、0.1mm を 1 と表現
水準網平均計算	水準測量精度管理表	新記載要領の成果に対応しました。 『水準測量精度管理表』
水準網平均計算	水準点検測量手簿	新記載要領の成果に対応しました。 『水準点検測量手簿』 また、再測・中断再開時の気温・日付の集計方法を改善しました。
水準網平均計算	水準変動補正計算	$\Delta H2$ 、 $\Delta H1$ を丸めずに変動量($\Delta H2 - \Delta H1$)を計算していた件を丸めた数値から計算するよう改善しました。 開始日又は終了日が閏年の場合、経過日の計算に誤りがあった件を改善しました。
水準網平均計算	水準網自動作成	「調整年月日」の入力を追加しました。作成される水準網平均計算パートに登録します。
水準網平均計算	水準網平均計算	新記載要領の成果に対応しました。 『水準網平均計算』 『全線の1km当たりの標準偏差』 『観測者毎の1km当たりの標準偏差』 『水準測量観測成果表』 『水準測量平均成果表』 『地盤沈下調査水準測量成果表』 『正規正標高補正(楕円補正)計算』 また、『水準測量平均成果表』に出力する「調整年月日」の入力を追加しました。 『水準測量平均成果表』では、始終点とも既知点の水準路線について補正数を出力するようにしました。
縦横断測量	簡易図表示	縦横断系コマンドの簡易図表示が、メインデータ表示に関する描画スイッチ(レイヤ1/色1/線幅1)の設定に依存し、簡易図表示設定で表示状態であっても非表示になることがあった件を改善しました。
GNSS 地形応用	RTK-GNSS観測記簿	新記載要領の成果に対応しました。 『RTK測量観測記簿』
GNSS 地形応用	既知点整合計算	既設点の範囲外の点がない場合でも「既設点の範囲外の点が存在します、帳票等でご確認下さい。」と表示される件を表示しないよう改善しました。
GNSS スタティック基準点	電子基準点間閉合	新記載要領の成果に対応しました。 『電子基準点間閉合』
GNSS スタティック基準点	偏心計算	新記載要領の成果に対応しました。 『偏心計算簿』
GNSS スタティック基準点	アンテナ位相特性データ設定	Trimble Configuration Utility がインストールされていない 32bit OS環境で管理情報を開くとエラー終了していた件を改善しました。
GNSS RTK基準点 GNSS 地形応用	RTK-GNSS観測手簿	新記載要領の成果に対応しました。 『RTK測量観測手簿』
GNSS RTK基準点 GNSS スタティック基準点 GNSS 地形応用	RTK観測支援	「RTK観測基線一覧」帳票の出力ができるようになりました。観測予定計画基線の座標値と基線の長さや基線終点間の距離を出力します。観測移動の参考にご利用いただけます。
GNSS RTK基準点 GNSS スタティック基準点	環閉合計算	新記載要領の成果に対応しました。 『環閉合計算』
GNSS RTK基準点	間接観測基線作成	新記載要領の成果に対応しました。 『間接基線点間座標差』

TOWISE Ver.6.0.2.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
GNSS RTK基準点 GNSS スタティック基準点	斜距離偏差	新記載要領の成果に対応しました。 『精度管理計算簿(斜距離偏差)』
GNSS RTK基準点 GNSS スタティック基準点	重複基線点検	GNSS測量計算条件設定で「基準点一点検」>「重複基線点検」>「重複する基線ベクトルの較差」の「水平」又は「高さ」に0を入力すると、『重複基線点検』の帳票で許容範囲を空欄にするよう改善しました。
GNSS RTK基準点 GNSS スタティック基準点	成果数値データ出力(公共測量)	公共測量作業規程の準則に掲載の標準様式3-1に従った「ジオイド高を出力しない書式」に対応しました。
GNSS RTK基準点 GNSS スタティック基準点	成果表(公共測量)	新記載要領の成果に対応しました。 『水準点座標一覧』
GNSS RTK基準点 GNSS スタティック基準点	品質評価表	新記載要領の成果に合わせて既存様式の文言を修正しました。 『品質評価表(総括表)』 『品質評価表(個別表)』
建物基本	建物図面作成	Ver.6.0.0以降、図面作成した結果の「建物図面寸法線」の登録座標系が「基本座標系領域」に変わってしまっていたのを、元の動作の座標系「建物図面」に登録するように改善しました。
普通建物 区分建物	建物図面作成 (再現)	Ver.6.0.0以降、建物の図面作成 (普通・区分共通) で再現機能を利用した場合に、建物図面の寸法線が編集前と編集後の両方が作図されていた件を改善しました。
点の記作成	点の記	新記載要領の成果に対応しました。 『基準点の記(記載要領)』 『水準点の記(記載要領)』 「種類」の入力を追加しました。アンテナ高(m)に"本点"と出力するため使用します。
GUIDER ZERO基本機能	TS設定	TS設定のTrimble-Mシリーズ画像をTrimble-M5に調整しました。
GUIDER ZERO基本機能	文字入力	Windows10のタッチキーボードを利用したときフリックキーボードで入力ができなかったり他のキーボードでは小数点が入力できないなどの動作があった件を改善しました。この改善により数値エディットで強制的に半角入力へ切り替えていたのをGUIDER ZERO環境では行わないようにしました。なお、改善後も手書き入力のテンキーでは小数点が入力できないなどいくつかの制限があります。その制限はエクスプローラなどでも同様の現象が確認できるものです。
GZ-MAX	各種観測 ストック観測	ストック観測中、例えばストックが2つ存在しているときに1つのストックを数点観測後、もう一方のストックを確定するために選択し「確定」ボタンを押すと、その2つのストックが確定されていた件を改善し、確定するために選択したストックだけを確定し、それまで観測していたストックを継続観測できるようにしました。
GZ-MAX	図面座標変換	Windows10環境用の画面調整をしました。
SKY Controller	GNSS観測	新受信機R4sに対応しました。R4sはRTK観測の基準局にした場合、補正信号CMRxが利用できないため、設定がCMRxになっている場合はCMR+で継続するか確認メッセージを表示します。またスカイプロット画面では衛星の有効無効切り替えが行えません。さらに、仰角マスクが30度までの指定となりますので、30度を超える設定で受信機と接続した場合、設定値を30度へ変更するようにしています。
SKY Controller	GNSS観測	GNSS設定の登録設定の登録オプションの偏差初期値を調整しました。(水平鉛直それぞれ「10mm/15mm」→「25mm/40mm」)
SX PILOT	新規パッケージ	Trimble SX10と連動するための新しいパッケージ「GZ-SX PILOT」を追加しました。 ※ご利用には、SX10を接続可能な「GUIDER 3D Version 1.0.6.0」以降が同PC内にインストールされている必要があります

TOWISE Ver.6.0.2.0 アップデート機能一覧

パッケージ名	機能	改良内容
SX PILOT	TS観測	Trimble SX10との連動に対応しました。気泡管の表示やカメラのストリーム映像の表示、専用の操作画面（SXコントローラ）を追加しました。
SX PILOT	TS観測 開始	Trimble SX10との連動に対応しました。気泡管の表示やカメラのストリーム映像の表示、専用の操作画面（SXコントローラ）を追加しました。
SX PILOT	TS設定	Trimble SX10との連動に対応しました。連動機種として「Trimble-SX10」を追加できるようになりました。

2018年10月 株式会社 ニコン・トリンプル